

クラスルーム ツールキット

安全に責任を持って
生成 AI を活用する

2022 年 11 月に ChatGPT がリリースされると、生成 AI は一気に、最も話題を呼ぶトピックの 1 つとなりました。新しい強力な AI アプリケーションが登場しており、このテクノロジーが教育分野に大きな機会をもたらす可能性を秘めていることは明らかです。授業で生成 AI のさまざまな面を扱い、探究し、指導する上で、教師の皆様が担う極めて重要な役割をマイクロソフトは認識しています。

マイクロソフトが提供するこのクラスルーム ツールキットでは、生徒と共に、安全に責任を持って生成 AI を活用する方法について学ぶことができます。マイクロソフトは責任ある AI へのアプローチの一環として、責任を持って安全に新しいテクノロジーを利用するためのデジタル リテラシー スキルとレジリエンスを若い人たちに身に付けてもらえるよう取り組んでいます。この教材は、サイバー セーフティ、デジタル ウェルビーイング、AI 教育を専門とするシンガポールのソーシャル企業である Cyberlite 社の協力を得て作成されています。

この教材について

このツールキットは、13 ~ 15 歳の生徒を指導する教師向けに設計されています。生成 AI を親しみやすく、かつわかりやすく紹介し、AI に関連する安全性やメンタル ウェルビーイングのリスクを説明することで、若者のレジリエンスを高めることを目指しています。また、AI は便利である一方で、常に正しいというわけではないことを強調しています。現時点ではまだ AI ツールを使用していない学校でも、AI のメリットとリスクに関する議論のきっかけとして、この教材をご利用いただけます。

学習目標

生徒が以下の能力を身に付けること

- 生成 AI の基本事項を説明し、生成 AI の限界に対処する。
- さまざまなプロンプト エンジニアリングの手法を用いて、求めている出力を得る。
- AI 生成コンテンツのファクトチェックを行うことの重要性を説明する。
- AI ツールの使用時に個人データやプライバシーを保護することの重要性を説明する。
- AI によって生成された出力に偏見が含まれている可能性と、その影響を評価する。
- 生成 AI は交際仲間ではなくツールであるということを認識し、デジタル ウェルビーイングに関する知識を応用して、デジタルの健全な利用に努める。

推奨される授業構成

教師の皆様がさまざまな要素を重点的に取り上げたり、状況に応じて授業の速さを調整したりできるように、PowerPoint プレゼンテーションは重要なセクションに分けて構成されています。

このツールキットを 20 ～ 30 分の授業に分け、1 回の授業で 1 つのセクションを学習し、重要な振り返りや理解の時間を十分に確保するようにするとよいでしょう。

セクション

1. 概要 (20 分)
2. 海を守るための Gina の闘い (30 分)
3. Alex のゲーム開発 (30 分)
4. 生徒向けの重要なポイント (10 分)

また、ツールキットの随所に、ガイド付きのアクティビティ「やってみよう!」が組み込まれています。これらは、さまざまな AI ツールや AI アプリケーションの探究を生徒に促す目的で設計されたものです。これらのアクティビティは興味深い体験を与えてくれますが、全体的な学習目標を達成するために絶対に必要というわけではありません。こうした柔軟性があるため、貴校における現時点での生成 AI ツール導入状況にかかわらず、このツールキットは授業での利用に適したものとなっています。

ツールキットの内容

- 授業用プレゼンテーション (PPTX)
- クラスルーム同意書 (PDF)
- 良いプロンプトの要素 (PDF)

このツールキットの利用方法

授業用プレゼンテーションは教室での利用を想定して設計されており、教師の皆様がクラス全員の生徒をまとめて指導できるようになっています。付属文書の「クラスルーム同意書」と「良いプロンプトの要素」は補助的なリソースであり、プレゼンテーションに含まれていない追加の学習ガイダンスが記載されています。

クラスルーム同意書

クラスルーム同意書は、生徒の学習における生成 AI ツールの使用に関して、重要な基本原則と期待事項を規定するためのものです。この同意書を守るよう生徒を導くとともに、学習環境にこの同意書を目立つように掲示することをお勧めします。所属機関で承認されているガイドラインと AI ポリシーにも必ず従うようにしてください。

重要事項

このツールキットは有益な学習ポイントを提供していますが、あくまでも開始点となるように作られたものです。生徒には、批判的に考え、質問し、ツールキットの内容にとどまらず探究するよう促しましょう。

